

白河

広報

3

2014.3.1 No.100



■白河だるま市



▲第83号(平成24年10月1日号)

3年ぶりに開催された白河提灯まつりを紹介したこの号は、県市町村広報コンクールで2位に入賞しました。



▲第69号(平成23年8月1日号)

震災の影響で開館が延期されていた市立図書館が7月24日、待望の開館。図書館の魅力を紹介しました。



▲第65号(平成23年4月1日号)

3月11日に発生した東日本大震災の被害の様子や、ボランティア活動の様子などを紹介しました。



▲第94号(平成25年9月1日号)

15年ぶりに復活した「白河関の踊り流し」を紹介。まちなかのにぎわいの様子を届けました。



▲第77号(平成24年4月1日号)

震災から1年が経過し、犠牲者の追悼と復興への願いを込め開催された追悼イベントの様子を紹介しました。



▲臨時版(No 1~6)

ライフラインの情報や被災者支援制度など、震災関連情報をお知らせする臨時版を発行しました。



◎特集 広報白河100号記念 第1弾

100か月の歩み

創刊



第1号(平成17年12月1日号)

平成17年11月7日に白河市、表郷村、大信村、東村が合併して新「白河市」が誕生し、広報白河第1号が発行されました。

広報白河が平成17年12月1日に創刊してから、今月で100号を迎えました。

今月号では、「100か月の歩み」と題し、創刊から現在までの8年3か月を振り返り、広報紙で取り上げた主な出来事をご紹介します。



▲第58号(平成22年9月1日号)

小峰城跡、借宿廃寺跡、野地久保古墳の国史跡指定が決まり、その内容を紹介しました。



▲第38号(平成21年1月1日号)

野地久保古墳(本沼)で、東北で初、全国で5例目となる「上円下方墳」が発見され、その内容を紹介しました。



▲第6号(平成18年5月1日号)

新市の誕生を祝う合併記念式典の様子を紹介。県南の中核都市としてのさらなる飛躍を誓いました。



▲第61号(平成22年12月1日号)

市制施行5周年を記念して策定した「市民歌」が完成し、譜面と歌詞を紹介しました。



▲第45号(平成21年8月1日号)

8月8日に開通した白河中央スマートインターチェンジを取り上げました。※表紙は第46号(平成21年9月1日号)



▲第24号(平成19年11月1日号)

10月1日から開始した、循環バス運行の様子を取り上げました。※表紙は第27号(平成20年2月1日号)

100号



▲第100号(平成26年3月1日号)

これからも必要な情報をお届けするとともに、市民の皆さんに分かりやすい広報紙づくりに努めていきます。

広報白河バックナンバー

広報白河のバックナンバーは、市立図書館で閲覧できます。また、平成22年1月1日号からの広報紙は、市ホームページでも閲覧できます。

読者の声

Interview

毎回楽しみにしています

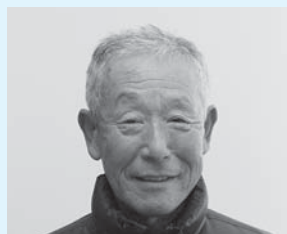
市外に通勤しているのですが、市内の情報を得るのに広報紙が役立っています。広報紙を通して、地域の人、イベントや行政情報に触れることで、地元に関する意識を高めることができます。掲載する写真も毎回楽しみに見ているので、今後もいい写真が掲載されることを期待しています。



くろさわ あや
黒澤 文さん(みさか)

生活に必要な情報を確認しています

休日当番医など、生活に必要な情報を確認するのに役立っています。出掛けたときに、県外の広報紙を見ることがありますが、市の広報紙はほかと比べても見劣りしないと思います。図書館で新着図書をチェックすることが多いので、広報紙にも新着図書のコーナーがあればうれしいです。



おかもと すずむ
岡本 進さん(郭内)

心で伝える

広報紙



▲吹き込み作業をする皆さん



▲点訳した冊子を製本する皆さん



広報白河には、点字で読むことができる「点字のおたより」、カセットテープで聞くことができる「声のおたより」があることをご存じでしょうか。今月号では、広報白河などを点字や声で伝えるために活動している2つの団体を紹介します。

■声のおたより

さつき会



▲石上雄昭会長

「きれいな日本語で、利用者の解釈を邪魔しないように読むことが難しい」と話すさつき会の石上雄昭会長。さつき会では、現在10人の会員が市の広報紙や社会福祉協議会だよりなどを音訳し、カセットテープに吹き込んでいます。もともと朗読に興味があった石上さんは、外部から講師を招いた朗読講習会に参加したことをきっかけに活動を始めました。小説などの本の朗読は、感情を込めて読むことができますが、広報紙などの音訳の場合は、内容を正しく伝えるために、分かりやすく読むことが求められます。そのためは、まずは読み手が内容を理解しな

けず、読み手が内容を理解しな

もっと多くの人に知ってもらい
利用してほしい

■声のおたより

視力に障がいのある方や、高齢で文字を読むことが困難な方などを対象に、市の広報紙や社会福祉協議会だより「なごやか」などを無料でカセットテープに吹き込み、お届けしています。希望する方は、お申し込みください。
●申し込み・問い合わせ先
社会福祉協議会 ☎@1159

■点字のおたより

白河点字友の会



▲館岡秀明会長

技術を向上させ
より分かりやすく伝えたい

「点訳のルールに従って、内容を正しく伝えることが難しい」と話す白河点字友の会の館岡秀明会長。点字友の会の皆さんは、パソコンのソフトを使って、市の広報紙や議会だよりの点訳をしています。館岡さんは、退職後、パソコンを使って何かできることはないかと思いついて点訳を始めました。ほかの会員も、誰かの役に立ちたい、学生時代から点字に興味があった、県点字図書館や市の点訳奉仕員養成講座を受講したなど、様々な動機が集まり、現在26人が活動しています。ほとんどの方が点訳初心者で入会していますが、週に1回、研修会を行い、会員が点訳した内容を確認

したり、点訳ルールを勉強したりして、知識を日々向上させています。点訳作業では、分かりやすく伝えるために数時間も悩むこともあり、日本語の難しさを痛感することもある。しかし、仲間と分担し、時間をかけて一冊のものを作り上げたときの達成感、さらには、利用者から点訳してくれてありがとうの感謝の言葉を聞いたときは、やりがいを感じるそうです。会では、利用者の希望するものを点訳して、少しでも役に立ちたいと考えています。「利用される方の希望に答えられるように、また、より分かりやすく伝えられるように、今後も点訳の技術を向上させていきたい」と話す館岡さんからは、点訳に対する真摯な態度と、利用者の役に立ちたいという優しい思いが伝わってきました。

■点字のおたより

視力に障がいのある方を対象に、市の広報紙や議会だよりの点字版を無料でお届けしています。希望する方は、お申し込みください。
●申し込み・問い合わせ先
本庁舎社会福祉課 ☎@1111
内2714



あらいこうき
荒井幸吉さん (久田野)

白河農工高陸上部に所属し、正走者に抜きされた。
「2020年までには東北の復興が終わることを望みたい。復興が終わった記念のオリンピックにしてほしい。」



やぶきまさお
矢吹正男さん (矢吹町)

白河農工高陸上部に所属し、正走者に抜きされた。
「日本が元気になるような、復興のオリンピックにしてほしい。福島も元気になってほしい。」



みずのやけいご
水野谷慶吾さん (中島村)

白河農工高 (現在の白河実業高) 陸上部に所属し正走者に抜きされた。
「開催が決まり、当時の記憶がよみがえった。東京だけでなく、東北、そして日本全体が盛り上がってほしい。」



うえのきよし
植野浄さん (五番町川原)

当時は市の職員で、走者たちを指導。「今は昔と比べると体を動かすことが少ない。オリンピックを見て、子どもたちが興味を持ち、スポーツを好きになってほしい。」



当時の聖火リレーの写真



①走者のユニフォームとトーチ
②閉会式のチケット (上) と閉会式の写真
③聖火リレー参加記念章

まさか自分が走者になるとは思っていなかった。選ばれたときはすごいことになったと思います。とても誇らしかったです。当日はすごく緊張していて、とにかく無我夢中で走りました。走り終えて次の走者に聖火を移すとき、火が付くのかドキドキしました。その瞬間、ほんの少しの時間が、まるで止まったかのようにとても長く感じたのを覚えています。走者を務めることができたことは、人生の大きな経験になりました。一生の思い出です。

正走者 水野谷慶吾さん

時間が止まったようだった瞬間

白河市の正走者は7人で、各正走者に副正走者が2人、伴走者が20人付き、一つの区間を23人で走りました。正走者の選抜の基準はスポーツを志す生徒で、各高校が選びました。練習では、トーチを持つ腕の角度や走るスピード、歩幅などを意識しながら、本番に向け一生懸命に取り組んでいました。

指導者 植野浄さん

走者の懸命な練習を見守る

中、選ばれた7人の走者がトーチをつなぎました。

東北の復興。そして日本中を元気に。次回の東京オリンピックに、4人は大きな期待を寄せています。6年後の2020年。自分たちがかわった前回の思い出をかみしめながら、やさしいまなざしでオリンピック観戦を楽しむ4人の姿が目につきました。

東京オリンピック2020

東北の復興。そして日本中を元気に。次回の東京オリンピックに、4人は大きな期待を寄せています。6年後の2020年。自分たちがかわった前回の思い出をかみしめながら、やさしいまなざしでオリンピック観戦を楽しむ4人の姿が目につきました。

走者に選ばれたときは、実感がありませんでした。自分よりも親のほうが喜んでくれたように思います。当日は沿道からたくさんの方の応援もあり、気持ちが高ぶっていたので、決められた時間よりも早く次の走者のもとに着いてしまいました。話を聞くと、ほかの走者も同様だったようです。ふたたび東京でのオリンピック開催が決まり、新たに気持ちの高ぶりを覚えました。

正走者 荒井幸吉さん

新たに気持ちが高ぶる

会式に参加させてもらいました。大型スクリーンに映し出された次回開催地の「MEXICO」の文字を見たときは、とても感慨深かったです。また東京に帰ってくると思わなかったもので、とてもうれしいです。

感慨深かった閉会式

正走者 矢吹正男さん

旧市役所付近の区間を走りました。走っているときは夢中で声援も聞こえませんでした。走り終えてから、沿道の人の多さに驚きました。その中を走ったのだと実感し、名誉に感じました。私は、オリンピックの閉

特集「東京オリンピック1964」聖火リレー走者インタビュー

おかえり、オリンピック。 今よみがえる50年前の記憶

「東京オリンピック2020開催決定」。昨年の9月、この報道に日本列島が沸きました。今からちょうど50年前の1964年(昭和39年)、日本で初めて開催された東京オリンピックの聖火リレーが、本市を駆け抜けたことはご存じでしょうか。その聖火リレーに携わった4人の方に、当時のお話を伺いました。

■個人住宅除染の進捗状況

平成24年度からスタートした個人住宅の本格的な除染は、除染実施計画に基づき比較的放射線量の高い地域から計画的に進めています。

今後も放射線量に関する情報提供と、計画に基づいた早期除染による放射線量の低減を図り、一日でも早く震災以前の生活環境が取り戻せるよう取り組んでいきます。



▲コンクリート高圧洗浄



▲雨どいふき取り

3月中に除染の取り組みをお知らせするチラシを、各世帯に配布します。

●各地区の進捗状況

中山、北真舟、真舟、新白河、高山、第1区、和尚壇、飯沢・金勝寺、金勝寺
平成26年度実施予定

みさか・緑ヶ丘・西三坂・大坂山地区
平成26年度実施予定

白坂地区の一部
平成26年度実施予定

旗宿地区
平成25年度実施



大信地域
平成25年度完了

小田川地域
平成25年度実施

白坂地区の一部
平成25年度実施

地区名	戸数	進捗状況
大信大屋地区	363戸	平成25年8月完了
大信信夫地区	883戸	平成25年12月完了
小田川地区	766戸	平成25年11月より実施中
旗宿地区	150戸	平成25年11月より実施中
白坂地区の一部(泉岡、五器洗、陣場、白坂パークヒルズ)	378戸	平成26年1月より実施中
白坂地区の一部(上記以外)	729戸	平成26年度実施予定
みさか、緑ヶ丘、西三坂、大坂山	1,566戸	平成26年度実施予定
中山、北真舟、真舟、新白河、高山、第1区、和尚壇、飯沢・金勝寺、金勝寺	1,828戸	平成26年度実施予定



放射線の低減に向けて

市では、除染実施計画に基づき比較的線量の高い地域から計画的に除染を進めていて、発生した除去土壌等は、順次仮置き場に搬入しています。

今月号では、仮置き場と個人住宅除染の進捗状況についてお知らせします。

■仮置き場の進捗状況

除染を進めるうえで不可欠な仮置き場は、合併前の旧4市村ごとに設置を目指しています。すでに供用を開始している大信、表郷地域に加え、平成25年12月に白河地域の第1工区が完成しました。第2工区についても間もなく一部供用を開始する予定です。

第1、第2工区には、個人住宅のほか、教育施設や公園など、市民が集まる公共性が高い施設の除去土壌等を優先に、順次搬入しています。



▲白河仮置き場第1工区(南側)



▲白河仮置き場第1工区(北側)

●仮置き場の概要

地域	場所	造成面積	供用開始時期
白河	第1工区	0.8ha	平成25年10月供用開始
	第2工区	10.6ha	平成26年3月一部供用開始(予定)
大信	第1工区	2.0ha	平成24年12月供用開始
	第2工区	3.4ha	平成26年3月一部供用開始(予定)
表郷	表郷番沢字久ノ内地内	1.0ha	平成24年12月供用開始

Information

『徳島大学と白河市による放射線対策事業報告会』を開催します

市では、平成24年5月に徳島大学と「震災復興に向けた連携・協力に関する協定」を締結し、これまで徳島大学の専門的な見地による支援を受けながら、放射線の正しい知識や除染についての学習会および相談会などを行い、放射線に対する不安の軽減に努めてきました。

この度、市の除染状況と今後の課題等や、放射線対策の現状について報告する「放射線対策事業報告会」を開催します。当日は、徳島大学教授による特別講演を行う予定ですので、ぜひご来場ください。

- 日時 3月22日(土)午後1時から
- 会場 市立図書館地域交流会議室(道場小路)
- 入場料 無料
- 本庁舎放射線対策課 ☎21111 内2186



小峰城石垣再生への歩み

古くから使用されている白河石

文化財課（歴史民俗資料館） ☎2310



▶石山から切り出した新しい白河石

▶石材を加工する様子

本市のシンボル小峰城。東日本大震災で石垣が崩落し、現在、修復に向けた作業を進めています。「小峰城石垣再生への歩み」では、修復作業の様子や再生に向けた取り組みをお知らせします。

小峰城の石垣には白河石が使われています。白河石は、白河・西郷地域で産出される石英安山岩質溶結凝灰岩で、大きくは白目と黒目の2種類あります。石質は軟石であるため、採石と加工が比較的容易にできるほか、耐火性にも優れています。しかし、吸湿性があるため、風化しやすく耐久性に劣ることが最大の弱点になります。白河石は、古くから石材として利用されていて、国史跡「白河舟田・本沼遺跡群」の古墳の埋葬施設にも使われています。

江戸時代に使われた石材は、これまでの文献調査や産地を特定する調査などから、小峰城より南東15kmから2kmにある文珠山と羅漢山から切り出したと考えられます。崩落で破損した石は、地元の素材を活かし、新たな白河石に交換していきます。

市税の滞納処分をさらに強化しています

本庁舎収税課 ☎1111 内2123

市税は、私たちが健康で快適に暮らすために必要な福祉や教育、道路整備などの財源として大切なものです。市税の滞納は財政を圧迫し、行政サービスの低下を招く恐れがあるほか、納期内に納めている多くの方との公平性を欠くことにもなります。

そのため市では、納税相談をしないで滞納している方を対象に、法律の規定に基づき、財産の差し押さえなどの滞納処分（平成24年度は約1,000件）を行っています。

●滞納処分の新たな取り組み

▷検索

国税徴収法の規定により、滞納している方の自宅等を訪問し、財産を差し押さえる債権回収を行っています。検索は令状を必要とせず、裁判所を通さずに実施する法的に認められた強制調査です。

▷インターネット公売

これまでは、債権・不動産の差し押さえを中心に行ってききましたが、今年度からは、動産を差し押さえ、それらをヤフー(株)が提供するインターネット公売（官公庁オークション）システムを利用し売却しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

●納税が困難な方は、早めに相談を

失業や病気、事業不振や生活困窮などで納付が困難な場合は、説明できる書類（収支の分かるもの）を持参のうえ、ご相談ください。

滞納処分を受けると、経済的な不利益や社会的信用を失うことがあります。早期に納付するよう努めてください。

滞納処分までの流れ

納税通知書の発送



督促状・催告書の発送

納期限を過ぎると、督促状を発送します。それでも納付がない場合は、文書等で催告します。



財産調査

勤務先、金融機関、官公庁などの財産調査を行います。



滞納処分

財産（預貯金、給与、不動産など）の差し押さえを行います。



換価処分

預貯金などは、即時取り立てし、不動産などは、公売により換価し、税に充当します。

今月のお題は、「水のきれいなまちへ」です。

私たちの家庭や工場などから出た汚れた水をそのまま流すと、川や湖が汚染され、蚊やハエなどの害虫や嫌な臭いが発生するなど、日常生活に様々な悪い影響を与えます。

下水道の接続が進むと、川や湖がきれいに保たれ、快適で衛生的な生活ができるようになります。今月号では、下水道への接続や助成制度などを紹介します。

下水道への接続を

下水道の供用が開始された区域の各家庭や事業所は、3年以内に「排水設備」を設置することが義務付けられています。

工事は指定業者に

市では、安心して排水設備工事を行っていただくために、「白河市下水道排水設備工事指定業者」を定めています。工事は指定業者に直接お申し込みください（指定業者以外では工事ができませんのでご注意ください）。なお、指定業者は本庁舎下水道課にお問い合わせください。

井戸水をご利用の皆さんへ

下水道をご利用の方で、井戸水のみを使用されている方、または水道水と井戸水を併用されている方は、ご家族の人数が下水道料金算定の基準となります。

料金変更の手続きには「世帯人員異動届」の提出が必要です。転出などでご家族の人数に変更が生じたときは、速やかに本庁舎下水道課までご連絡ください。

水洗化改造等資金助成制度

市では、市民の皆さんに下水道接続をしていただくため、次の助成制度を設けています。詳細は、本庁舎下水道課までお問い合わせください。

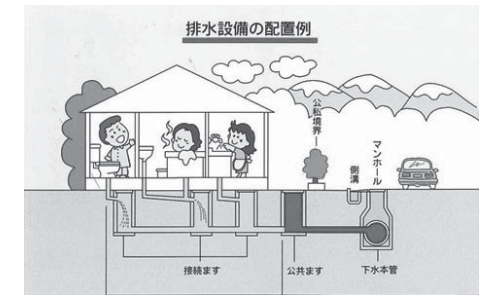
◆助成制度

- 水洗化改造等工事費用の一部を助成します（1件あたり）。
- ①供用開始日後1年以内に行う改造工事の場合 25,000円
 - ②供用開始日後2年以内に行う改造工事の場合 15,000円
 - ③供用開始日後3年以内に行う改造工事の場合 10,000円

◆利子補給制度

改造費用を市内の金融機関から借り入れた場合に、その借入利子を市が支払います。

排水設備とは…
トイレの汚水や台所などの生活排水を下水道に流すために必要な排水管や接続ますをいいます。



供用開始区域の縦覧

4月1日から新しく供用開始になる区域の縦覧を行います。

- 日時
3月10日(月)～20日(木)／午前8時30分～午後5時15分（平日のみ）
- 会場
本庁舎下水道課（2階）
- 対象区域
金勝寺、金勝寺東、飯沢、鶴巻山、関辺川前、老久保、老久保山、東小丸山、与惣小屋、与惣小屋山の各地区の一部

本庁舎下水道課 ☎1111 内2232

消費者教育講演会を開催
木久扇師匠が予防策を熱く語る

2月13日、市民会館（手代町）で、落語家の林家木久扇師匠を招き「消費者教育講演会」が開催されました。この講演は、悪質商法やなりすまし詐欺の被害が後を絶たないことから、白河警察署の協力を得て、楽しみながら予防策を学んでもらおうと開かれたものです。

木久扇師匠は、約1,000人の来場者を前に、ユーモアあふれる話を交えながら、「怪しい話は家族や親しい人に相談、一人で判断しない」など被害者にならないための知恵を語りかけていました。



▲笑いを誘いながら語る木久扇師匠

災害時におけるLPガス等の供給協力に関する協定
災害時の安全と安心を確保

2月3日、白河市と西白河郡4町村は、県LPガス協会白河支部と「災害時におけるLPガス等の供給協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、東日本大震災の燃料不足の教訓を踏まえ、LPガス等の供給を優先的に受けることで、住民生活の安全・安心を確保することを目的としています。これにより災害時には、LPガスをはじめ、炊事用具、給湯器具、暖房器具、発電機などの供給を受けることができるようになりました。



▲締結式の様子

中心市街地活性化基本計画（案）に対する意見書
一層の連携・協力を確認

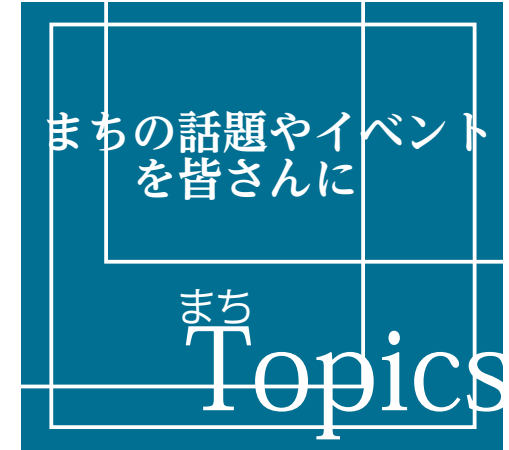
1月29日、市が策定した「第2期白河市中心市街地活性化基本計画（案）」について、白河市中心市街地活性化協議会の牧野富雄会長から鈴木市長に「おおむね妥当」とする意見書が提出されました。

この第2期計画は、第1期で整備した市立図書館や楽蔵などの拠点の活用促進を含め、多岐にわたるソフト事業を重点的に盛り込んだ内容となっています。

市では、意見書を付した基本計画を内閣総理大臣に申請し、3月までの認定を目指します。



▲鈴木市長に意見書を手渡す牧野会長（右）



▲福を求める来場者でにぎわう会場

春の訪れを告げる「白河だるま市」
福を求めて大勢の人でにぎわう

前々日の大雪とは打って変って、快晴となった2月11日、恒例の白河だるま市が市内の天神町・中町・本町で行われ、約15万人の人でにぎわいました。通りには約700軒の露店が立ち並び、訪れた人たちは、だるまを売る威勢の良い掛け声に誘われ、福を買って求めていました。また、マイタウン白河では、ラーメン部会加盟5店舗による本格白河ラーメンが提供され、来場者は、限定のラーメンに舌鼓を打っていました。



▲限定ラーメンを食べる子どもたち

ほかにも同会場で「手づくり甲冑絵巻展」が、JR白河駅前イベント広場で「白河ご当地キャラ・ヒーローフェスタinだるま市」が同時開催され、それぞれにたくさんの方が訪れ楽しんでいました。

第19回中山義秀文学賞贈呈式・受賞記念講演会
「戦国時代の九州」の覇権争いを語る

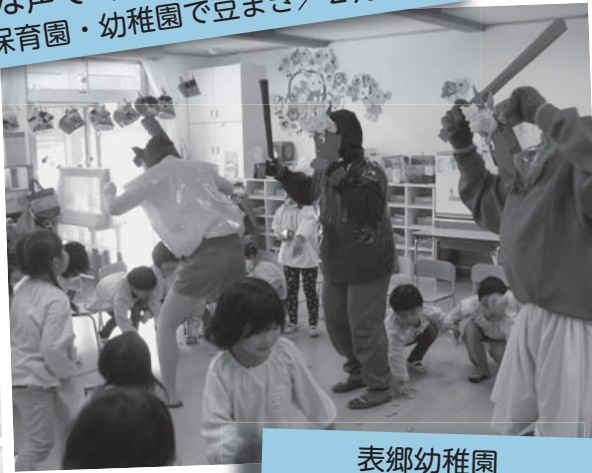
1月25日、市立図書館（道場小路）で、「第19回中山義秀文学賞贈呈式・受賞記念講演会」が行われ、受賞作「破天の剣」の作者、天野純希さんに正賞と副賞が手渡されました。

贈呈式後の記念講演会では、天野さんが「戦国時代の九州」をテーマに、受賞作にまつわる登場人物や、現地に行って調査したこと等を話されました。参加者は、九州で繰り広げられた覇権争いの話に、興味深く聞き入っていました。



▲講演をする天野さん

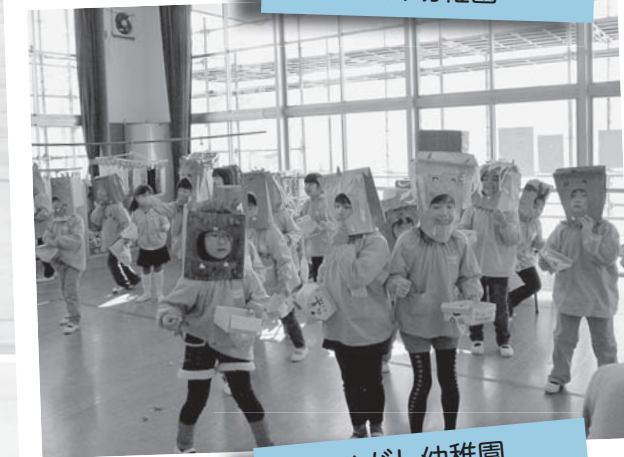
大きな声で「鬼はそと、福はうち！」
各保育園・幼稚園で豆まき／2月3日



表郷幼稚園



ひまわり保育園



ひがし幼稚園



たいしん保育園



心にひびく音色で観客を魅了♪
第19回白河市東音楽フェスティバル
2月2日／東文化センター (東釜子)



本市観測史上最高の76cmの積雪を観測
南岸低気圧による大雪
2月14日・15日



「ロコモ体操」で足腰を強化！
ロコモティブシンドローム予防体操
2月21日／大信保健センター (大信町屋)



ヒーローからあめのプレゼント！
白河ご当地キャラ・ヒーローフェスタinだるま市
2月11日／JR白河駅前イベント広場

話題を
写真で！

まち
ひと

話題を写真で紹介！

施設の催し★

▶歴史民俗資料館 (中田7-1 / ☎2310)

- 【利用案内】
●開館時間 午前9時～午後4時
●休館日 毎週月曜日
●入館料 無料

- 【催し案内】
◇テーマ展
「むかしの暮らしと道具」
●会期 4月13日(日)まで



蒸し籠

<展示解説会>

3月23日(日)／午後2時から (申し込み不要)
※むかしの道具に触れるコーナーもあります。

◇常設展 「白河の歴史と文化」

▶白河集古苑 (郭内1-73 / ☎5050)

- 【利用案内】
●開館時間 午前9時～午後4時
●休館日 毎週月曜日
●入館料 大人310円 (250円) / 小中高生100円 (80円)
※ ()は20人以上の団体料金
※毎週土曜日は小中高生無料

【催し案内】

- ◇結城家古文書館
「重要文化財 白河結城家文書と中世の美術」
ミニテーマ展「江戸時代の結城家-結城家のその後-」開催中

◇阿部家名品館 「伝来の遺宝と阿部家歴代」

- 会期 3月23日(日)まで



阿部忠吉所用
茶羅紗地陣羽織

- 【企画展 桜・さくら】
●会期 3月27日(日)から

<お知らせ>

展示替えのため、3月25日(火)・26日(水)は閉館します。

▶市民会館 (手代町22-1 / ☎3718)

- ◇第2回震災復興音楽祭～希望～
●日時 3月11日(火)／午前11時30分から
●入場料 100円 (福幸菓子プレゼント)
☎本庁舎文化振興課 ☎1111 内2384
◇キャンドルナイト～希望のあかり～
●日時 3月11日(火)／午後5時30分から
●入場料 無料
☎福島県南地方振興局復興支援・地域連携室 ☎1502
◇ヤマハ音楽教室アンサンブル発表会

- 日時 3月16日(日)／午後1時から
●入場料 無料
☎(有)ラガタ楽器店 ☎6800

▶文化センター (中田140 / ☎5220)

- ◇カラオケ喫茶K 歌謡発表会
●日時 3月23日(日)／午前9時から
●入場料 1,000円
☎カラオケ喫茶K ☎5000
◇白河シネマパラダイス#48
映画「奇跡のリング」上映会
●日時 3月29日(土)／①午前10時から
②午後2時から ③午後6時から
●入場料 前売 1,000円(当日200円増)

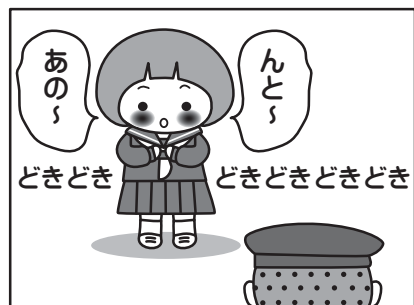
☎白河シネマパラダイス運営委員会 ☎5271

▶東文化センター (東釜子字狐内47 / ☎1131)

- ◇カラオケ歌仲間発表会
●日時 3月16日(日)／午前9時30分から
●入場料 1,000円
☎カラオケ歌仲間実行委員会 ☎0247-36-3246
◇白河シネマパラダイス#48
映画「奇跡のリング」上映会
●日時 3月30日(日)／①午前10時から
②午後2時から
●入場料 前売 1,000円(当日200円増)
☎白河シネマパラダイス運営委員会 (東文化センター内) ☎1131

ほんこのころ

作 本町かずこ
卒業



いつの時代も青春ってあまじょっぱい。

「広報白河広告」申し込み

3月3日(月)から、「広報白河広告」の申し込みを受け付けています。広告の掲載を希望する方は、お気軽にお問い合わせください。

●掲載料 (1回につき)

▷1枠(縦42mm 横178mm) 2万4千円

▷半枠(縦42mm 横 86mm) 1万2千円

※公共性を損なう内容は掲載できません。

◎本庁舎秘書広報課 内2373

■関山山頂から富士山を望む!

関山から富士山まで、直線距離にして約234km。12月から2月までの間、天候、空気の澄み具合などの条件がそろえば、山頂から見る事ができます(野田誠さん提供。右上に富士山、左下は旗宿地区)。



輝きの記録

第28回ごみに関するポスター展



◆最優秀賞
つのだけんろう
角田健太郎さん(白三小6年)
※角田さんは、最優秀賞を2年連続で受賞しました。

善意の窓

貴重な江戸時代の雛人形(享保雛)

1月24日、安田豊さん(天神町)から、大型の享保雛2体(1対)とそのほかの雛人形35体、雛道具一式が寄贈されました。

これらは3月9日(日)まで、歴史民俗資料館の「江戸時代の雛人形」で展示しています。



ちょっといいなし

文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞



2月10日、白一小的清野孝教諭が、文部科学大臣優秀教職員表彰の受賞報告に訪れました。

同校の教育実践研究の中心として、成果を上げ、普及に努めたことが評価されたものです。

地域は自分たちの手で! ボランティアでゴミ拾い

「だるま市」の会場として多くの人でにぎわった本町・中町・天神町。

翌日の2月12日には、各町内会が、ゴミ拾いのボランティア活動を行いました(写真は本町町内会の皆さん)。



事業紹介 匠の技チャレンジショップ事業

起業家の支援とまちなか出店を目的とする「匠の技チャレンジショップ事業」を活用し、中心市街地(中町)で営業している2店舗を紹介します。



①茶房瑠(飲食店)

- 営業時間 正午~午後11時
- 定休日 日曜日
- 連絡先 ☎09172
- ホームページ <http://sabowl.jimdo.com/>

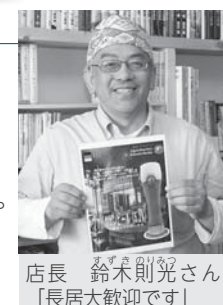
読書にオサボリに利用できるカフェバー



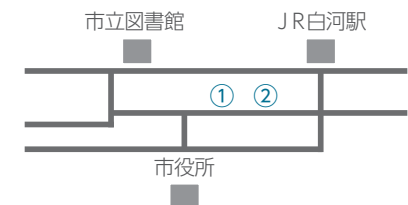
サクッと香ばしいそば粉のガレット。ロールケーキはHappy Berry(矢吹町)から取り寄せています。
▷ガレット(600円から)
▷コーヒー(400円から)
▷ロールケーキ(320円から)

店長から

おすすめは、「ガレット」と「白ビール(ドイツ産)」です。白ビールはビールが苦手な方からも好評を得ています。県内で取り扱うお店も少ないので、ぜひ一度ご賞味ください。また、店内には1,000冊を超える蔵書や手造りの木造家具があり、ゆっくりとくつろいでいただけます。



店長 鈴木則光さん「長居大歓迎です」



②Loco(飲食店)

- 営業時間 午後6時~午前0時
- 定休日 水曜日
- 連絡先 ☎080-5734-9258

カクテルなどが楽しめるハワイアンバー



ボトルが特徴的なハワイのコナビールのほか、世界3大ハムの一つ「ハモンセラノ」を楽しむことができます。
▷カクテル各種(600円から)

店長から

甘いリキュール系のお酒をメインに、女性の方でも飲みやすいカクテルやハワイビールを提供しています。店内に流れるハワイアンミュージックを聴きながら、ハワイにいるような雰囲気を楽しんでください。また、旬の果物を使用したパンケーキもおすすめです。



店長 大野祐太郎さん「チャージ料無料です」

■Pickup 白河だるま市成功ストーリー

伝統行事を守るボランティアの大きな力!!

2月9日、東日本全体を大雪が見舞い、各地で記録的な積雪が報じられました。本市の積雪は50cm。それは「白河だるま市」の2日前のことでした。

翌日の朝、会場となる本町・中町・天神町の道路は圧雪状態、沿道にはたくさんの雪が積み上げられていました。今年のだるま市はどうなってしまうだろう。関係者の脳裏に不安がよぎりました。

迎えた当日。「荒れた天気」になることが多いだるま市ですが、今年は快晴に恵まれ、さらに会場内の雪はきれいに無くなっていました。まるで何事もなかったかのように、例年同様多くの来場者が訪れ、大盛況のうちに終わりました。

今年のだるま市開催の背景には、多くのボランティアの皆さんの努力がありました。前日(10日)、白河建設親和会(永野文雄会長)は会場の除雪作業を行うため、重機16台とダンプトラック20台、そして101人の作業員を投入。機械と人力によるプロフ



ェシヨナルな作業で着々と雪を片付け、夕方には見事に会場内の雪を一掃してました。除雪にあたった永野会長は、「来場する多くの方にだるま市を楽しんでもらいたい一心で、会員一同が市などと連携して懸命に作業にあたりました。無事に作業が終了し安心しました」と話しました。
本市の伝統行事は、こうしたボランティアの皆さんの力によって守られています。



学校紹介

○住所 田島165-2
○電話 ☎2351

白河市立五箇小学校

校長 石幡良子

教育目標 (めざす児童像)

1. 本気で学習する子ども
2. 心身ともにたくましい子ども
3. 自分も他人も大切にしている子ども

五箇小は、自然豊かな環境と協力を惜しまない地域の人たちに支えられ、子どもたちも教師も安心して楽しく学校生活を送っています。

今年度は3つの教育目標の中でも、特に「自分を大切にすること」に力を入れています。

- 自分を大切にすることは、
- 自分の命・健康は自分で守ることができること
 - 自分の持っている力を最大限に引き出す努力をすること

●だれからも信頼される人になること
だと児童には伝え、学習や運動、その他の活動にも、目的を持たせて全力で取り組ませています。

また、全職員が一丸となり、児童の良いところをほめて自信を持たせ、「自己肯定感」を高める指導を行っていることも五箇小の自慢です。

さらには、特色ある教育活動として書写指導にも力を入れています。今年度は、「福島県たなばた展」や「福島県書きぞめ展」で最高学校賞を受賞しました。これは児童も教師も保護者も、心一つにして取り組んできた成果の一つです。



▲校内書きぞめ会の発表の様子

今月号は
「子育て支援」
のお話です!

まようい
ホット情報

熱!!

■教育関係のホットな情報を皆さんへ

子育てハンドブック「ぽっかぽか」改訂版発行

「ぽっかぽか」は、妊婦および中学生以下の子どもと保護者を対象とした様々な制度のほか、困ったときの相談先や子育て支援施設などを掲載しています。

改訂版の発行は、3月末ごろを予定していて、本庁舎子ども課、各庁舎教育振興課、各行政センター、保健センターなどで配布します。

<主な掲載内容>

- 妊娠が分かったら
- 出生から就学前まで
- 保育園のこと、幼稚園のこと
- 一時的なお子さんの預かりや、送迎を頼みたいときは
- 小学校から中学校まで
- ひとり親家庭の方へ
- 障がいのあるお子さんへの支援
- 子育て相談や子育て支援、情報交換の場は
- 白河市には、どんな施設があるの
- 白河市医療機関
- 急に具合が悪くなったら
- DV被害にあっていませんか
- 児童虐待ってどんなこと
- 子育て支援事業一覧

屋内遊具施設&屋内砂場「わいわい広場」

「わいわい広場」は、小学校低学年までの子どもとその保護者を対象とした屋内の遊具施設です。雨や雪の日でも遊ぶことができますので、お気軽にご利用ください。

- 会場 田島明治11-1 (五箇市民センター)
 - 開館時間 9:00~16:00 (12:00~13:00除く)
 - 休館日 月曜日 (ただし、祝日の場合は開館し、翌日は休館)
- ※屋内砂場では、水を使って遊ぶことができます。利用する場合は、タオルや着替えを持参してください。



▲わいわい広場で遊ぶ子どもたち

●本庁舎子ども課 内2731



りぶらんだより Libran

Movie

映画上映案内

市立図書館多目的ホールで上映される映画です。入場無料です。

映画で感性を磨く!!

- 大人向け 「蒲田行進曲」 ■日時 3月19日(水) 午後6時30分~8時20分
- 子ども向け 「ユニコ」 ■日時 3月15日(土) 午後1時30分~3時

Event

催し案内

子どもたちが本を愛するように。

本が好きになる!!

- ちびっこおはなしのくに ■日時 3月20日(木) 午前11時~11時30分
- おはなし会 ■日時 3月22日(土) 午前11時~11時30分
- 会場 おはなしの小屋 ■会場 おはなしの小屋
- 対象 0歳~3歳程度 ■対象 3歳~小学生程度

Exhibition

本の展示

毎月、季節に合わせた本を展示しています。

旬な話題に触れる!!

- 大人の本 「芽」
春の訪れとともに、いろいろな気持ちは芽生えます。さあ、動き出しましょう。楽しい、新しい発見があるかもしれません。
- 子どもの本 「ぽっかぽかの春がきた!~ともだちたくさんできるかな~」
卒業・入学に関する本や花の本、友達についての本など、春を感じる本を展示します。

◎市立図書館 ▶開館時間 平日10:00~20:00
☎23250 土・日・祝日9:30~18:00
▶休館日 月曜日、第1水曜日
(ただし、祝日の場合は開館し、翌日は休館)

◎表郷図書館 ▶開館時間 10:00~18:00
☎4784 ▶休館日 祝日、火曜日、第1水曜日
Event 《おはなし、よんで! (0歳~小学生対象)》
■日時 毎週土曜日/随時

◎大信図書館 ▶開館時間 10:00~18:00
☎463614 ▶休館日 月曜日、祝日の翌日
《絵で見るお話の会》
※3月はお休みです。

◎東図書館 ▶開館時間 10:00~18:00
☎41130 ▶休館日 祝日、火曜日、月末日
Event 《図書館であそぼう! (0歳~7歳対象)》
■日にち 毎日
※視聴覚室使用日を除く

ホームページアドレス
<http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/>
 ☎=問い合わせ先
 内=内線番号
 ◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎2111/Fax272577
 ◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎2111/Fax22234
 ◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎462111/Fax462409
 ◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎342111/Fax343584

募集

出逢い&ふれあいの会 企画委員

市と西白河郡各町村では、結婚を希望する男女の出逢いの場を演出する「出逢い&ふれあいの会」を実施しています。このイベントの企画・運営に協力していただけるボランティアを募集します。

- 活動内容 イベント(年2回実施予定)の企画運営
- 募集人員 若干名
- 資格 満20歳以上の方で、

月1回程度の企画委員会に参加できる方

- 申込期限 3月31日(月)まで
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎地域支援課 内2257

国家公務員採用試験

人事院では、国家公務員採用総合職試験および一般職試験を実施します。なお、申し込みはインターネットで行ってください。

《総合職試験(大学院卒者・大学卒程度)》

- インターネット申込受付期間 4月1日(火)～8日(火)
- ※開始日の午前9時から
- 第1次試験日 4月27日(日)
- 《一般職試験(大学卒程度)》
- インターネット申込受付期間 4月9日(水)～21日(月)
- ※開始日の午前9時から
- 第1次試験日 6月15日(日)
- ※受験資格など、詳しくは人事院のホームページをご覧ください。お問い合せください。
- ☎人事院東北事務局 ☎022-2211-2022 / ホームページ <http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

国税専門官採用試験

仙台国税局では、国税専門官採用試験を実施します。

- 資格 ①昭和59年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた方 ②平成5年4月2日以降に生まれた方で、大学を卒業した方または平成27年3月までに卒業する見込みの方など
- 受付期間 ▼インターネットによる申し込み 4月1日(火)～14日(月) ▼郵送・持参に

ごみの適正な「分別」と「排出」にご協力を

ごみ集積所は、利用する地域単位での管理となっていて、違反ごみが出されると、管理をする方に多大な迷惑が掛かります。違反ごみをなくし、市民の皆さんが気持ちよく利用できるよう、また、環境保全のためにも、ごみの適正な「分別」と「排出」にご協力をお願いします。

《ごみの出し方》
 ごみは指定袋に入れて収集日の午前8時30分までに、指定の集積所に出してください。

粗大ごみは、クリーンセンターに自己搬入するか戸別収集により処分してください。

《集積所に出せないごみ》
 法律で、次のごみは集積所に出すことが出来ません(細かく砕いても回収できません)。それぞれの処分方法に従い、正しく処分してください。

- テレビ・冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・衣類乾燥機・エアコン 処分の際にはリサイクル券が必要となります。郵便局でリサイクル券を購入のうえ、自己搬入または戸別収集により処分してください。
- 農薬の空容器 家庭菜園やガーデニングなどで使用した農薬の空容器は、本庁舎生活環境課または各庁舎市民福祉課で無料回収しています。キャップや容器をしっかりと洗浄したうえで、毎月1日、15日(回収日が祝祭日の場合は翌日)に持参してください。

《平成26年度ごみ収集カレンダー》
 ごみの収集日や分別の方法が分かる「ごみ収集カレンダー」を町内会を通じて各家庭へ配布します。カレンダーは、本庁舎生活環境課・各庁舎市民福祉課にもありますので、必要な方は各窓口にお越しください。

☎本庁舎生活環境課 内2165 / 各庁舎市民福祉課 表郷 ☎2113 大信 ☎463974 東 ☎342113

案内

「ふれあいパス」の更新

高齢者・障がい者の方に交

よる申し込み 4月1日(火)・2日(水)

- 第1次試験日 6月8日(日)
- ※申込方法など、詳しくはお問い合わせください。
- 申し込み・問い合わせ先 仙台国税局 ☎022-2111-263

付している「白河市ふれあいパス」の有効期限は、3月31日(月)までです。

引き続き市循環バス(こみねっと)、表郷地域巡回バス、大信地域自主運行バスおよび東地域巡回バスを利用される方は、更新の手続きをしてください。

- 受付開始日 3月3日(月)
- 更新に必要なもの ご利用中の「ふれあいパス」と健康保険証など本人確認ができるもの(障がい者の方は交付されている手帳)

国民年金保険料の後納制度

後納制度は、過去10年間に納め忘れた国民年金保険料を納付できる制度です。後納をすること、将来の年金額を増やせるほか、年金を受給できなかつた方でも受給できる場合があります。制度の期限は平成27年9月30日までです。お早めにお申し込みください。

《申し込みをした方》
 後納保険料は、納付書に記載の使用期限(3月31日)までに納付してください。使用期限を過ぎた場合は、新たな加算額による納付書を発行します。ご連絡ください。

※10年から1か月を超えた保険料は後納できません。詳しくはお問い合わせください。

☎国民年金保険料専用ダイヤル ☎057011105

●申し込み・問い合わせ先
 本庁舎高齢福祉課 内272
 2 / 各庁舎市民福祉課 表郷 ☎2114 大信 ☎462114 東 ☎342116

もうお済みですか? 自動車、軽自動車の変更手続き

自動車税、軽自動車税は、毎年4月1日現在の車検証に登録されている内容で課税されます。使用していない、住所が変わった、他人に譲渡したなど、登録内容に変更が生じた場合は、3月末までに必ず所定の手続きをしてください。

もし、移転や抹消の登録が行われていないと、平成26年度分も今年度と同様に課税されることになりますので、ご注意ください。

なお、3月下旬は手続き窓口が大変込み合いますので、お早めに手続きをしてください。

区分	自動車税(県税)	軽自動車税(市税)	
分類	・251cc以上のバイクを所有している方	・126cc以上250cc以下のバイクを所有している方 ・軽自動車を所有している方	・原動機付き自転車 ・125cc以下のバイク ・小型特殊自動車を所有している方
注意事項	◎納税通知書は5月上旬に発送する予定です。 ◎被災された方には、県税の特例措置により減免等が受けられる場合がありますので、ご相談ください。	◎軽自動車税には月割課税はありません。4月2日以降に名義変更しても1年分の軽自動車税が課税されます。 ◎納税通知書は5月中旬に発送する予定です。	
移転・抹消登録などの窓口	福島運輸支局登録部門 ☎050-5540-2015 白河自家用自動車協会 ☎233850	福島運輸支局登録部門 ☎050-5540-2015 白河自家用自動車協会 ☎233850	県軽自動車協会 ☎024-546-2577 白河自家用自動車協会 ☎233850
問い合わせ先	県南地方振興局県税部 課税第二チーム ☎231519	本庁舎課税課 内2128・2129 各庁舎総務課 表郷 ☎2112 大信 ☎462113 東 ☎342112	

※身体、知的、精神に障がいがある方で、一定の要件が満たされている場合は、申請により自動車、軽自動車のどちらか一台に限り減免されます。詳しくは、それぞれの窓口までお問い合わせください。

案内

異動の手続きを忘れずに

転勤や就職・進学などで住所が変わる場合には、住所異動届出が必要です。
 転出はあらかじめ届け出し、転入は転入してから14日以内に届け出をしなければなりません。これらの届け出は忘れずにお願います。

《異動の手続き》

- 届出義務者 ▼原則、本人または世帯主 ▼親権者や委任を受けた代理人でも可能
- 届け出に必要なもの 住基カードや運転免許証など顔写真

- 真付きの身分証明書（お持ちでない方はお問い合わせください）と、転入者は転出証明書、転出者は国民健康保険証、印鑑登録証など
- 届出場所 本庁舎市民課・各庁舎市民福祉課・各行政センター（受付は、平日午前8時30分から午後5時15分まで）
- 本庁舎市民課 内2158
- 各庁舎市民福祉課 表郷 ☎ 2113 大信 ☎ 46397 4 東 ☎ 2113

まちかど伝言板

1つども坐禅会

- 春休みに坐禅体験をしてみませんか。
- 日時 3月25日(火)／午前11時～午後1時
 - 会場 大統寺本堂（馬町）
 - 対象 小・中学生
 - 参加料 無料 ※おかゆを用意しています。
 - 定員 30人 ※先着順
 - 申込方法 電話・FAX・Eメールでお申し込みください。
 - 申し込み・問い合わせ先

大統寺 ☎ 2723 / FAX 2731 / Eメール souteisu7@yhb.ne.jp

中心市街地活性化事業

ミニコンサート

- 《マリンバ 渡辺真里子／ピアノ 斉藤牧恵》
- 日時 3月23日(日)／午後4時～5時
- 会場 えきかふえSHIRAKAWA (郭内)
- 入場料 無料
- 福島県ミニコンサート実行

3月定例研修会

- 日時 3月26日(水)／午後6時30分～8時
- 会場 市立図書館地域交流室（道場小路）
- 内容 私の人生と宗教
- 講師 大統寺住職 渡辺宗徹氏
- 入場料 500円
- (財)立教志塾 ☎ 1427

白河のシンボルとなる道路 まもなく開通！

白河新道組同好会 甘酒 サービス

新風亭 人力車 も登場するよ！

市公認 キャラクター タルライザー しらかわん も登場するよ！

白河のシンボルとなる道路のオープニングセレモニー
 〈白河駅白坂線・一番町大工町線（大工町工区）完成記念〉

- 日時 3月23日(日)／午前11時から
- 場所 白河駅白坂線路上（大工町）
- 内容 開通式、道路愛称発表、記念イベント等
- 問い合わせ先 都市計画課 内2282

委員会 遠藤 ☎ 090-149617610

休日救急医療当番医の変更

休日救急医療の当番医（歯科）が変更になります。

- 変更日 3月9日(日)
- 変更前 クリニックおおまち（登り町）
- 変更後 鈴木歯科医院（表郷金山） ☎ 2029

健康増進課（中央保健センター） ☎ 2112



市長の手裡え帖
 白河市長 鈴木 和夫

『笑顔のもてなし清掃』

アジアの大躍進が始まっている。あらゆるものを、いっぺんに飲み込もうとする躍動感に満ちている。100年かけて段階的に進むところを、途中を飛ばして追いつこうとする。中国では、固定電話が普及する前に、一挙に携帯電話・スマートフォンに切り替わった。いきおい、生活レベルの向上に、社会資本や公共システムの整備がついていけない。鉄道・地下鉄・モノレール、電気・水道・衛生、さらには政治・行政制度まで、急ぎ必要としている。そこで技術やシステムの輸入となり、日本や欧米のビジネス・外交の大きなチャンスとなっている。経済の発展は人・ものの広域活動を促し、高速鉄道・道路、航空の需要が増す。特に、短時間で大量の人を運ぶ高速鉄道は、各国で競いあうように建設されつつある。

「新幹線」は世界の最高水準にある。速くて正確、揺れの少なさ、地震等への高い対応力。優れた技術と鉄道マンの職業力は賞賛に値する。それ故、日本の技術や設備を導入しようとする。しかし、これだけ列車の運行を支えることはできない。安全運転や車両・線路の維持補修、ダイヤ編成、接客等ソフト面の力が欠かせない。ソフトには蓄積された技能や緻密さ、そして使命感が必要。これらは、様々な経験や試行錯誤の中から生まれてくるもので、時間もかかるし、組織的な対応が求められる。

大きくみれば民族性もかわってくる。

ソフトには清掃も入る。このところ、新幹線の清掃が注目を浴びている。「新幹線 お掃除の天使たち」としてミュージカル化されるなど、高い評価を受けている。黒の帽子とストラックスに真っ赤なジャンパー。全員笑顔で姿勢がいい。一列に並び、ホームに入る列車へ深々と礼をする。降りるのを見計らい掃除に着手。列車が着き、折り返すまでの間は12分。降車に2分、乗車に3分、残る7分で清掃する。窓やトイレを磨く、座席下等のごみ処理、座席カバリの交換、忘れ物のチェック。団体や高校生の旅行などは苦勞するといふが、いかなる場合も手際良く処理する。100席ある一車両を原則、一人で見守り持つ。終わると、「お待たせしました」と再度礼をする。何ともいえない清々しさ。プロの仕事振り、礼儀正しさが人の心を揺さぶる。

また、大きな荷物を抱え困っている年配者を助ける。赤ちゃんが泣いている母親の手伝いをする。体調が悪そうな人を気遣う。あるいは、季節の贈りものをしようと、アロハや浴衣を着たり、帽子にハイビスカスの花を飾ったりする。男女兼用のトイレに入れない女性からの訴えを本社につなぎ、女性専用をつくるのに尽力するなど活動の場を広げている。

従来なら「清掃には関係ない」と一蹴された。これが大きく変わった。自分たちの仕事は清掃だけではない。楽しい旅や節目の旅、人生の思い出づくりの手助けをしている。ひとときの、心地よい空間を提供しているという誇りが生まれた。新幹線の掃除部門から、清掃技術サービスを

担う集団へと変身した。

清掃を行っているのはJR東日本の子会社。陽が当たる仕事とはいえない。むしろ、きつい、汚い、危険の3Kにあたる。本社から異動を命じられると「何故俺がここに？」という評価。ここで採用された社員も同じ。どうせ精を出しても下積み。与えられたものを淡々とこなすだけ。沈滞した気分が包まれていたという。9年前に着任した役員は「どうせやるなら楽しくやろう」と改革にのり出した。

まずは誇りを持つと叫びかけた。こなすのではなく、決められた時間の中で最高の清掃をしよう。快適な空間をつくらう。さわやかな、もてなしをしよう。当初は強い反発があったという。粘り強く、現場で働く人と対話し、説得し、意見を取り入れた。少しずつ実行に移すと「きれいになったね。テキパキしているね」とのほめ言葉が聞こえてくる。次第に不協和音が消えていった。社員から前向きな提案が出るようになり、本社の見る目も変わってきた。まわりから認められると、より高い目標を持つと士気も高まる。自分の仕事に誇りを持ち、働くことの充実感につながる。好循環が生まれた。

噂になり、米國運輸長官が視察し、ドイツ国営放送が取り上げ、日本のマスコミも注目した。現場の力を引き出した経営陣と、呼応した社員の見事な共同作業に学ぶところは多い。これは「自分の仕事にこだわる。より良いものを求める」日本人の土壌に由来しているように思える。紛れもない日本の底力。新幹線の技術に加え、笑顔のもてなし清掃も、輸入したいとの声があがるのは当然かもしれない。

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業があり、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

市内企業の
ものづくり・人づくりを紹介！
企業の
ちから

No23 The company in Shirakawa

(株)牧野工業 白河工場
MAKINO INDUSTRY CO., LTD

住所：白坂鶴子山103
事業内容：工具用刃物ケースなどプラスチック成型品の製造

一貫自社生産でコストダウンを可能に。
使いやすさを追求した切削工具ケースを製造



- ① バリエーション豊かなプラスチックケース。自社製品のほとんどが白河工場で製造されています。
- ② 工場外観。白と緑でデザインされ、周囲の環境と調和しています。
- ③ 社員の皆さん。職場は若さと活気にあふれています。
- ④ 整理された工場内。成型用の様々な機械が並んでいます。
- ⑤ 太陽光発電システムを設置し、省エネルギー活動に取り組んでいます。
- ⑥ 「プラスチックケースのことなら牧野工業と言われるようになりたい」と話す岸本さん。

「私たちの会社は、工具用刃物などを入れるプラスチックケースを製造しています。入れ物という考え方だけでなく、透明度が高く中身が良く見え、収納品を引き立てるようなケースづくりを目指しています」と話す白河工場製造課長の岸本栄司さん。

牧野工業は、昭和49年に千葉県松戸市で創業。交通の利便性や復興支援などから、平成24年に白河工場を建設しました。これまで、社外の協力工場に依頼していたケースの成型作業を白河工場に集約したことで、製品設計から販売まですべての業務を自社で行う一貫生産体制を築きあげ、コストダウンを実現。低価格・高品質の製品を、国内の主要な工具メーカーに提供しています。

敷地面積は約7,000㎡で社員は20人。「地元に残りたい若者を採用したい」という牧野守雄社長の意向で、すべての社員を地元で採用し、地域の雇用に貢献しています。また、平成21年に取得したISO14001に基づき、環境に配慮した「地球に優しい」製品づくりを目指し、社員一人ひとりが自然に行動し取り組めるような会社づくりを心掛けています。

「独自の技術をさらに向上させ、より良い製品をつくること、そして地域に愛される会社になることが目標です。その実現に向け、若い社員たちとともに頑張ります」と岸本さんは笑顔で話してくれました。

白河市民への愛がいっぱい

1月20日から2月14日までの義援金・寄附金の提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

2月15日以降の義援金・寄附金は、次号でお伝えします。

●理容まるや白河店 様

《仮設住宅等支援者をご紹介します》
(1月22日～2月21日)

- 日本カイロプラクターズ協会 様
- スズヤ鍼灸治療院 様
- 天理教 北多摩西部支部 様

「いいね！」を押して市の情報をチェック



白河市公式ページ

<https://www.facebook.com/city.shirakawa>

Introduction of the cover 今月号の表紙

100号目となる今月号の表紙は、「白河だるま市」のイラストです。こちらは、京都を拠点に活躍されているイラストレーターの渡辺チカラさんに制作・提供していただきました。

渡辺さんにはこれまで、平成24年10月1日号「白河提灯まつり」、平成25年4月1日号「小峰城」のイラストを描いていただき、今回が3回目となります。

笑顔でだるまを買い求める人々や、大勢の人たちでにぎわう様子をイラストで紹介することができました。渡辺さんありがとうございました。



渡辺さんは、イラストのほか、絵画制作、似顔絵・肖像画、壁画制作などを手掛けています。

イラストや作品の詳細は、ホームページで見ることができます。

▶公式ウェブサイト
<http://chikaraartstudio.jp>